

第6章 計画実現のために

1 計画の推進体制

本計画は、高齢者に関する総合的な計画であり、地域共生社会の実現に向けて行政のみならず民間団体や福祉、保健、医療、介護、防災など、各機関との連携による事業の円滑な推進に取り組む必要があります。

(1) 市民への周知

本計画の理念や目標を共有するとともに、施策や取り組みについて、市民の認知・理解を得るため、市の広報誌やホームページなどをはじめ多様な媒体を活用して周知・広報活動を推進します。

介護保険法の理念も踏まえ、自立支援・介護予防・重度化防止の必要性への市民の理解を高め、様々な事業への参加を働きかけることで、健康寿命の延伸を図るとともに、市民一人ひとりが地域の中でそれぞれに役割を持ち、支え合い、助け合いながら自分らしい自立した生活を送ることができる地域共生社会の実現に取り組めます。

(2) 保健・医療・福祉の連携

今後も続くと見込まれる高齢者人口の増加を見据えつつ、地域で暮らす高齢者の生活を包括的に支援していくため、福祉・医療・保健・介護等に関わる各種団体との連携を一層強化するとともに、高齢者を支援する各種ボランティア団体の育成に努め、地域に密着した活動ができる環境づくりに取り組めます。

(3) 介護保険運営協議会の運営

学識経験者、保健医療関係者、社会福祉関係者、被保険者の代表等で構成する介護保険運営協議会において、年度ごとに介護保険事業などの進捗状況を報告するとともに点検・評価を行います。

(4) 地域包括支援センター運営協議会

地域包括支援センターの公平・中立な運営が遂行されるよう、各年度において、地域包括支援センターの運営状況を報告し、適切かつ円滑な運営に努めます。

(5) 地域密着型サービス運営委員会

地域密着型サービスの事業者指定等の公平性の確保や公正な運営が遂行されるよう、適宜報告を行い、適切かつ円滑な運営に努めます。

2 円滑な運営に向けて

(1) サービス基盤の整備および確保

介護サービスの受給率について、新潟県は全国と比較すると施設サービスの受給率が高くなっていますが、本市においても施設サービスの受給率が上昇傾向にあります。

一方で、在宅介護実態調査によると、人生の最期の暮らしとして「必要な医療や介護サービス、福祉サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」が46.4%、「自宅で、家族、親族のみの介護を受けながら必要な医療を受けて暮らしたい」が17.0%で、合わせた63.4%が自宅での生活を望んでおり、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設に移って、医療やサービスを受けたい」の8.4%、「病院などの医療機関」の6.1%を大きく上回っています。

今後も高齢者人口の増加が見込まれるため、要介護者の多様化するニーズに柔軟に対応できるように、地域の実情と高齢者のニーズに合ったサービス基盤のあり方について、サービス事業者をはじめとする地域の関係者と議論を進めることが必要です。

(2) 保険者機能の強化

介護の必要な人が安心して必要な介護サービスを受けられるよう、地域包括ケアシステムの深化に取り組むとともに、保険者として介護保険制度の健全で適正な運営に取り組みます。

また、様々な取り組みの達成状況を客観的な指標で評価し、高齢者の自立支援・重度化防止等に関する取り組みを推進するための「保険者機能強化推進交付金」や、公的保険制度における介護予防の位置づけを高めるために創設された「介護保険保険者努力支援交付金」（社会保障の充実分）の評価指標の達成を目指して事業を推進し、保険者機能の強化と予防・健康づくりの推進を図っていきます。

(3) 苦情の適切な処理と再発防止

介護サービス利用者に適切なサービスが提供されるよう利用者から寄せられる苦情を迅速かつ円滑に処理し、介護保険に関する各種の相談について不平・不満等の解決を図ります。

また、苦情や相談ケースを地域ケア会議、ケース検討会等の場において報告し、問題の再発防止に努めます。

(4) 支出の適正化・収入の確保

事務の効率化などに取り組み、支出の抑制を図ります。

また、保険料などの収入の適正かつ確実な確保に努めるとともに、財源と人材をより重点的・効率的に活用する仕組みを構築することで、介護保険制度の持続可能性を確保します。

3 計画の進行管理

高齢者保健福祉施策および介護保険事業を円滑に推進していくために、PDCA サイクルを活用し、評価結果に基づきより効果的な施策を検討し、対策を実施していきます。

各年度において、計画の達成状況を「見附市介護保険運営協議会」に報告し、点検および評価を行います。

また、保険者機能を強化していくため、県との連携により地域課題を分析するとともに、地域包括ケア「見える化」システムを活用し評価を行い、より良い高齢者施策の実現につなげていきます。

